新学術領域研究「法と人間科学」

平成26年度全体会（合宿）

事前課題

A

　　　　　　　●提出締め切り：　平成27年3月5日（木）

　　　　　　　●提出先：　「法と人間科学」支援室　宛　lahs@let.hokudai.ac.jp

【研究班代表者用】

|  |
| --- |
| 研究班名：　　(班名を記入)　班：「(研究班の研究課題を記入) 」 |
| 研究代表者名：　　　　　　　（所属：　　　　　　　　大学・　　　　　　　　　学部） |

【 A 】研究報告

１．本年度の活動実績について

本年度実施してきた活動項目（研究会、研修、講演会、シンポジウムなど）について、 記入例を参考にして下記の表を埋めて下さい。項目数が多い場合は、適宜、行を追加してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| a.活動項目 | b.内容 | c.他研究班と連携・協働 | d.実務家と  の連携・関連 | e.国際的  活動 |
| 記入例）  東京法と心理研究会 | ・領域内外の研究者が研究報告を行う  ・弁護士など実務家と情報共有し意見交換する  ・若手研究者の登壇でプレゼンススキル向上や知見の蓄積を支援する | 伊東班  指宿班  佐伯班  厳島班 | 弁護士  検察官 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

２．研究について

（１）H２６年度の遂行状況について

班の目標に対して進行状況がどの程度であるか記入してください。（200〜300字程度）

【回答欄】

（２）研究途上で分かってきた問題点と課題について

研究を推進する中で、より具体的になった問題点や課題および認識が変化した点などを記してください。また、最終年度に向けて、研究班としてどのように取り組むかの展望を記入してください。課題ごとに箇条書きで記入してください。

【回答欄】

【 B 】討議に関する課題

1. グループディスカッションに関するアイディア

「法と人間科学のファイナル・イベントを企画する」

今回のグループディスカッションでは、上記のテーマについて討議します。最終年度に、法と人間科学という新学術領域が5年間何をしてきたかを広く発信するイベントを企画してください。このイベントは、成果発信と共に未来に発展させる起爆剤にもなるものとして、以下のようなキーワードを基に考えてください。

**・インタラクティブ**：発信者と受信者（実務家や対領域研究者、市民）との相互交流

**・コラボレーション**：他領域、他分野との協力・連携・融合（これらの発展と結束の強化）

**・ユニーク**：演台を使わない講演、360度プレゼン、花道質疑応答など上記2条件を満たす斬新な仕組

みや構成

当日の討議時間は短いので、事前に多くのアイディアを出し、当日は、お互いのアイディアを発展、融合、集約して洗練させましょう。

【記入欄】

イベントのタイトル、コンテンツ（講演、ポスター発表など）、実現の方法・形式

記入例）

●「法と人間科学グランド・シンポジウム」

・コンテンツ：①TED型の講演、②ポスター発表、③研究成果ブース

・方法・形式：

①演台を使わず、講演者が質疑応答時、自由に参加者間を歩き回り、問いかけながら、講演を進めることで、参加者に一緒に考えてもらい協働して講演を作り上げる。

②院生など若手研究者にできるだけ多く参加してもらい、会場内の研究者、実務家、市民と積極的に意見交換する。

③研究班毎にブースを設け、立体的なポスター発表となるべく、映像有り、出版展示有りのフェスタ的なのりで、成果を一般市民にも分かりやすく公開し、その場で直接社会ニーズに触れる。院生など若手をスタッフにすることで、若手も育成する。

研究班のみならず、研究班が協働して行った研究会、心理鑑定などの成果についてもブースを設け、連携・協働のさらなる強化を促進する。

-----

【記入欄】